

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あんプラス江戸川橋		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 2日		～ 2024年 10月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48 (回答者数)	44
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な活動プログラムを組んでいること。	平日の集団活動や、土曜日のイベントに関しては、児童からの要望を取り入れるとともに、面談等を通じて保護者様からもリクエストをいただき、多くの児童が楽しめるようプログラムを考えている。	他教室の子ども達と一緒に活動する時間を設け、より多様なプログラムや、多くの人と関わることができる機会を提供していく。
2	個に応じた支援を実施していること。	マンツーマンでの支援を実施することにより、子ども達一人一人の話を聞き取ったり、涙み取ったりして実情に沿った支援を提供できるようにしている。活動内容によって、各自が取り組みやすいようにスタッフ配置や方法を工夫するなどしながら進めている。	全ての子どもに対して効果的な支援が行えるよう、アセスメントや行動観察・記録、スタッフ間の情報共有を徹底していく。
3	子どもにとって安心して通所できる場所であること。	認める声掛けを日頃から積極的に行い、成功体験を積んで自己肯定感を高めることができるよう支援をしている。また、初めて参加することも、不慣れな子どもには、スタッフがすぐに手伝えるようスタッフを配置している。	子どもたちが不安なく通所できるよう、今後もスタッフとの信頼関係の構築を大切にいくとともに、困ったことや悩み事を相談しやすい環境づくりを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の交流など、家族への支援がされているか。また、きょうだいへの支援が十分でない。	父母の会の設立や、保護者同士の交流を望む声がありません、きょうだいに向けたイベントなども企画に至っていない。	保護者や児童の要望も聞きながら、家族・兄弟で参加できるイベントや、保護者向けの会なども、可能であれば実施していきたい。
2	放課後児童クラブや児童館、地域の子どもと交流する機会が少ない。	放課後児童クラブや児童館との接点は今のところなく、他事業所とのかかわりを望まない声も見られたため、積極的に実施してこなかった。	地域の行事等を通じて、地域の子どもと交流する機会とすることを検討していきたい。
3	事業所では、ペアレントトレーニングや家族等も参加できる研修会、情報提供などの家族支援プログラムが行われていない。	保護者向けの講演会を希望する声はあまりなく、今年は講演会などの形で実施してこなかった。	ご家族に向けた情報については面談等で実施している。今後も情報提供をしっかりと行っていくとともに、家族支援プログラムの充実を図っていく。